



2018年度 第3四半期
決算報告
2019年2月1日



1. 2018年度 第3四半期累計実績 サマリー

2. 2018年度 第3四半期累計実績 詳細

3. 2018年度 業績見通し

4. ビジネスハイライト

2018年度 第3四半期累計 財務実績【前年同期比】



(億円、千台)	3Q累計 (4-12月)				3Q単独 (10-12月)	
	FY2017	FY2018	増減		FY2017	FY2018
			差異	率		
売上高	15,181	17,941	+2,760	+18%	5,704	6,248
営業利益 (利益率)	646 (4.3%)	850 (4.7%)	+204 (+0.4 P.P.)	+32%	204 (3.6%)	281 (4.5%)
経常利益	811	924	+113	+14%	205	241
当期純利益*	701	692	-9	-1%	217	173
販売台数 (小売台数)	777	894	+117	+15%	279	300

* 親会社株主に帰属する当期純利益

3

まず、第3四半期業績のサマリーですが、売上高は、1兆7,941億円と前年同期比18%の増加、営業利益は850億円となり前年同期に比べ204億円の増加となり、その結果、営業利益率は4.7%まで改善しました。

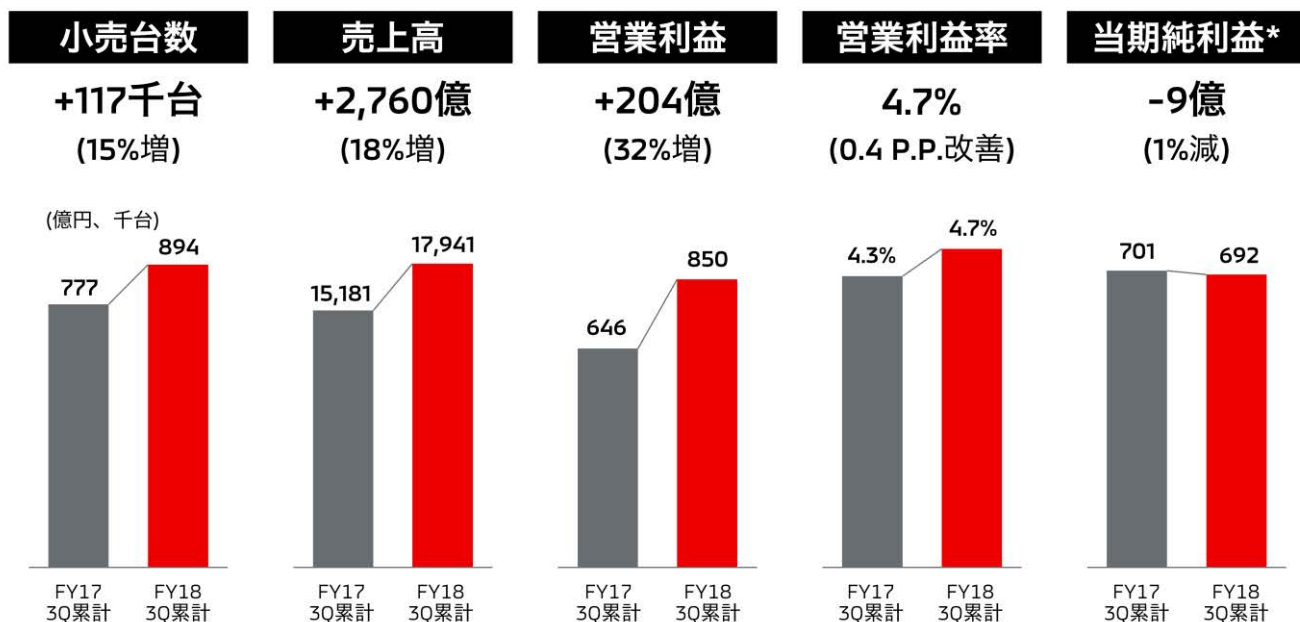
なお、純利益については、昨年度に法人税引当金の取り崩しという特殊要因があり、その反動で減益となっておりますが、当該要因を除けば増益を確保しております。

販売台数は、グローバルで89万4千台となり、前年同期比で15%の増加となりました。

また、第3四半期単独では、ご覧の通り、売上高6,248億円、営業利益281億円、営業利益率4.5%となりました。

足元、景気が世界的に不透明感が出てきておりますが、ここまでは2018年度通期見通しの達成に向けて、堅調に推移しています。

2018年度 第3四半期累計 業績サマリー【前年同期比】



* 親会社株主に帰属する当期純利益

販売台数・売上高・営業利益は、いずれも前年実績に比べて増加し、売上高・営業利益に関しては前年同期比でそれぞれ18%と32%の増加となっております。

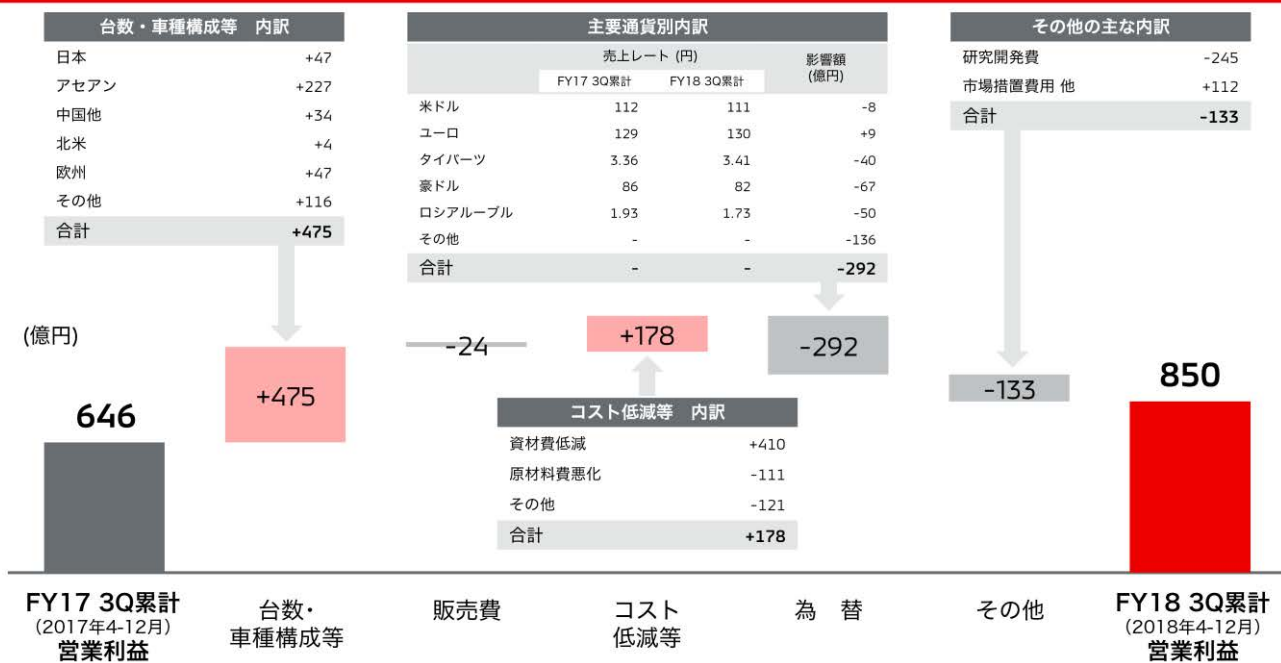
1. 2018年度 第3四半期累計実績 サマリー

2. 2018年度 第3四半期累計実績 詳細

3. 2018年度 業績見通し

4. ビジネスハイライト

2018年度 第3四半期累計 営業利益変動要因分析【前年同期比】



台数・車種構成では、新型車の投入やアセアンにおけるエクस्पандーの好調な販売が大きく、475億円の増益となりました。

販売費用は、日本では大きく改善しましたが、北米やアセアンで費用増となり、24億円の減益要因となりました。これは、ブランド力強化や、新車投入に伴う広告宣伝費を増額したことによるものです。

コスト低減等は178億円の増益要因となりました。原材料市況変動によるコスト増や成長投資による費用増がありましたが、シナジー効果を含めた資材費低減が順調に進んだ結果です。

為替は、主要通貨である米ドル、タイバーツ以外にも、豪ドル、ロシアルーブル、インドネシアルピア等、主に資源国や新興国の通貨安がマイナスに働き、為替全体では292億円の減益要因となりました。

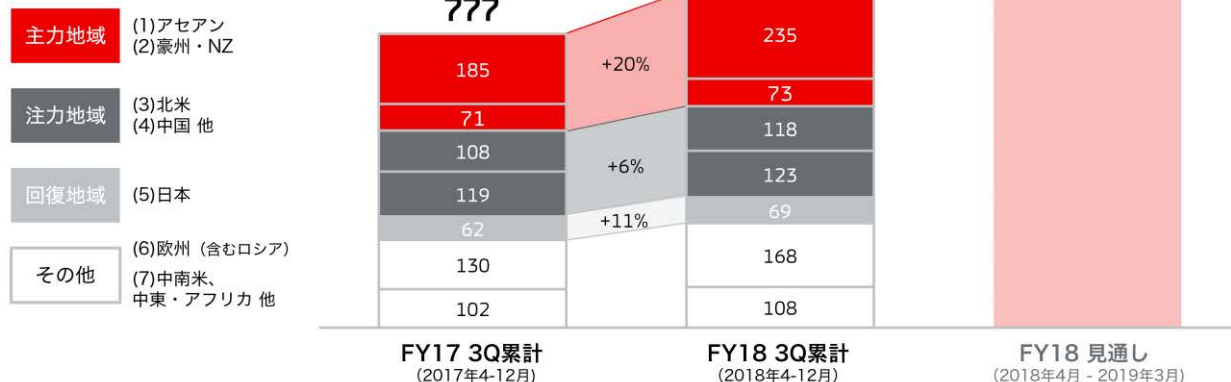
2018年度 第3四半期累計 販売台数実績【前年同期比】



販売台数: 894千台, 15%増

* 2018年度よりアセアンと欧州の一部国を「中南米、中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、下記2017年度実績数値も同様に変更。

小売台数 (千台)



18年度第3四半期の販売台数は、いずれの地域も、前年同期を上回る実績となりました。

中期経営計画「DRIVE FOR GROWTH」において主力地域としましたアセアンと豪州・NZ地域では、新型車エクスペンダーを中心に好調な販売を維持し、前年同期比20%の増加となりました。

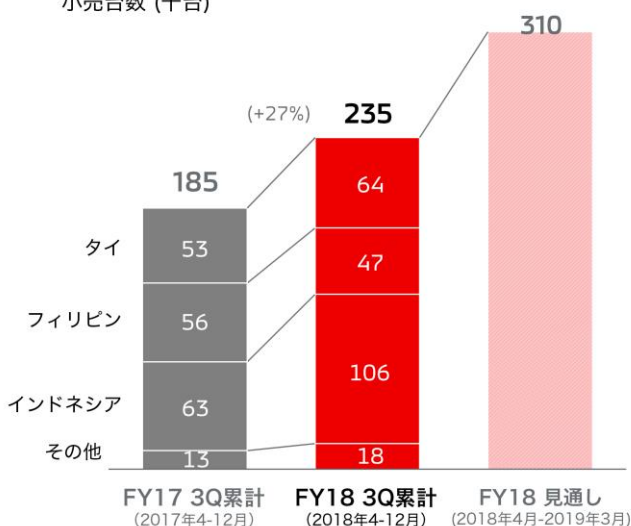
注力地域については、新型車投入やディーラー網拡充・再編などにより、9ヶ月累計では前年を上回る実績となりましたが、北米、中国共に足元では市場環境が厳しさを増していると認識しています。

また回復地域としている日本でも、前年同期比11%の増加となり、全体では15%増加の894千台となりました。

2018年度 第3四半期累計 地域別実績: アセアン



小売台数 (千台)



エクスペンダー

販売台数: 235千台, 27%増

- エクスペンダーの販売拡大:74千台(12月末)
- タイではトライトンが販売好調: 30千台(12月末)

全需は当社調べ (主要7カ国) *2018年度よりアセアンの一部国を「中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2017年度実績数値も同様に変更。

8

アセアンの販売は、一昨年のインドネシアを手始めに投入国を拡大した新型MPV エクスペンダーの力強い販売もあり、前年同期に比べ27%増加の23万5千台となりました。

エクスペンダーはインドネシア、タイ、フィリピンを中心に74千台を超える好調な販売となっており、アセアン地域の販売台数押し上げの原動力となっています。

国別に見ると、フィリピンでは、5月より販売を開始したエクスペンダーは順調に推移しているものの、物品税導入による全需への影響が長引いており、全体で47千台と前年同期比で9千台の減少となりました。

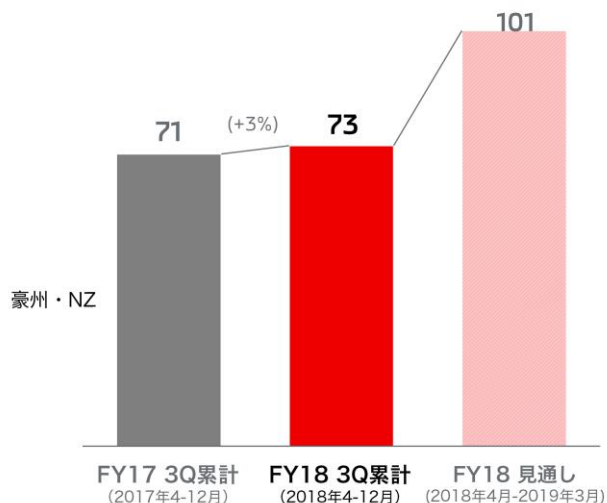
一方、インドネシアでは、発売より既に1年以上経過しましたエクスペンダーが、引き続き強い需要に支えられており、全体で106千台と前年同期比で4万3千台の大幅増加となりました。

また、タイでは全需が堅調な中、11月にトライトン/L200の新型を投入したことに加え、従来からのサービス向上の取組みも効果が出始め、64千台まで拡大しました。

2018年度 第3四半期累計 地域別実績: 豪州・NZ



小売台数 (千台)



豪州・NZ



パジェロスポーツ

販売台数: 73千台, 3%増

- 販売シェアの拡大: 第3四半期累計シェア4位 (豪州・NZ両国ともに)
- 拡大傾向にあるSUV/LCV車種に注力

全需 1.0M 0.9M (-5%)

全需は当社調べ

9

当社が高いシェアを持つ豪州・ニュージーランドでは、全需が減少傾向にある中でも安定した販売が続いており、前年同期比で3%増加し、7万3千台となりました。

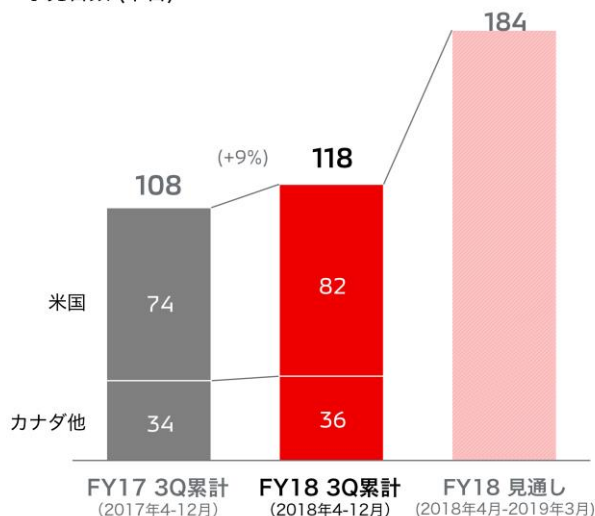
特に、当社が得意とするSUVの市場拡大に合わせた特別仕様車の投入や販売ネットワークの改善を進めた結果、シェアが前年同期の5位から4位へと上昇しました。

市場拡大を続けているSUVと小型商用車の販売に引き続き注力してまいります。

2018年度 第3四半期累計 地域別実績: 北米



小売台数 (千台)



アウトランダー

販売台数: 118千台, 9%増

- アウトランダーPHEV、エクリプス クロスが台数増に貢献
- 引き続きブランド力強化に注力

全需 16.0M 15.9M (-1%)

全需は当社調べ

10

北米においては、全需が前年同期比-1%とやや縮小する中、当社販売台数は同9%増加し118千台となりました。

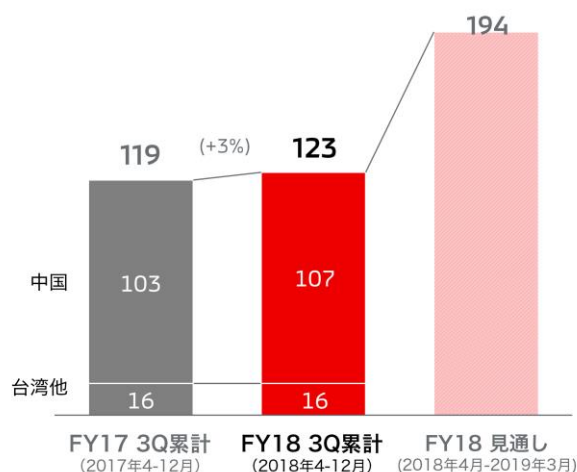
米国では、昨年度後半に投入した新型車エクリプス クロスと大幅改良を実施したアウトランダーPHEVが台数増加に貢献しました。

但し、全需が伸び悩む中、厳しい販売競争が続いており、通期見通しの達成に向けた第4四半期は容易ではないと認識しています。中長期的にブランド力強化の取り組みを地道に行いつつ、収益を伴った販売増加の実現を目指してまいります。

2018年度 第3四半期累計 地域別実績: 中国 他



小売台数 (千台)



エクリプス クロス

販売台数: 123千台, 3%増

- エクリプス クロスとアウトランダーが販売拡大に貢献
- 販売網の強化: 302から353店舗に拡大 (FY17/3月末からFY18/12月末)

全需 21.4M 20.3M (-5%)

全需は当社調べ

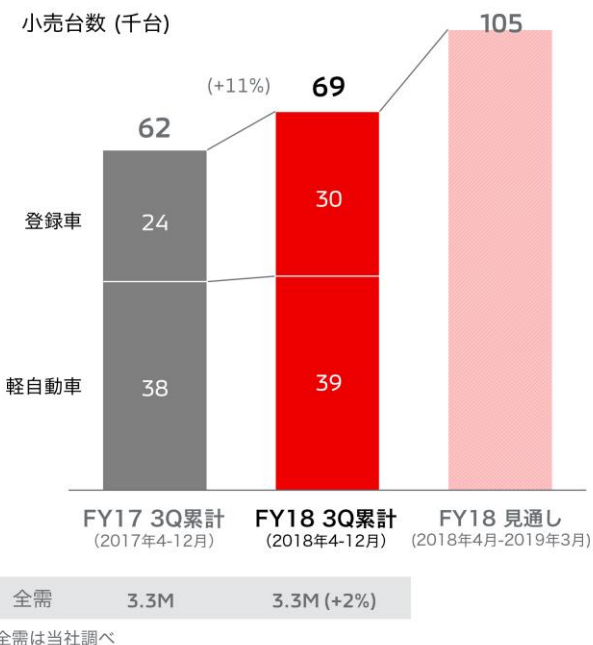
11

中国では、全需が前年同期比-5%の減少となる中、当社は、販売好調なアウトランダーに加え、11月よりエクリプス クロスの現地生産・販売を開始したこともあり、前年同期比3%増の123千台となりました。販売網も、今年度末の計画としていた350店の体制を12月末時点で前倒しで達成しました。

しかしながら、米中貿易摩擦の激化などを受け、中国の成長に陰りが表れており、自動車需要も低迷しています。当社台数も第3四半期単独では前年を下回っている状況です。

通期見通しの達成に向けては、需要動向を慎重に見極めながら、コスト管理を徹底することで、収益を伴った台数増を目指して参ります。

2018年度 第3四半期累計 地域別実績: 日本



デリカD:5

販売台数: 69千台, 11%増

- エクリプス クロスとアウトランダーPHEVによる登録車販売台数の増加
- 販売回復とブランドイメージの強化: 新型デリカD:5の投入

日本の販売は前年同期に対して11%増加し、6万9千台となりました。

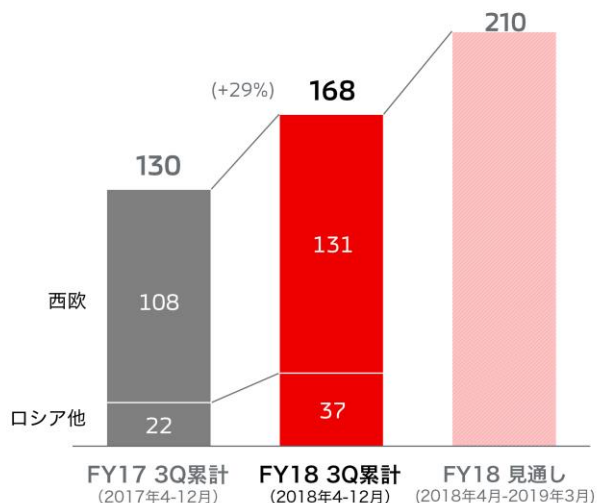
これは昨年度末に投入したエクリプス クロスの新車効果に加え、商品力が大幅に向上したアウトランダーPHEVの販売増加によるものです。また、デリカD:5 特別仕様車「JASPER」の好調な販売も貢献しております。

11月21日（水）より先行受注を開始した、新型デリカD:5により、更なる販売台数の回復やブランドイメージ向上への取り組みを続けてまいります。

2018年度 第3四半期累計 地域別実績: 欧州 (含むロシア)



小売台数 (千台)



アウトランダーPHEV

販売台数: 168千台, 29%増

- 西欧: アウトランダーPHEVの販売拡大
- ロシア: 商品ラインアップの拡充

全需は当社調べ (主要32カ国) *2018年度より欧州の一部国を「中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2017年度実績数値も同様に変更。

13

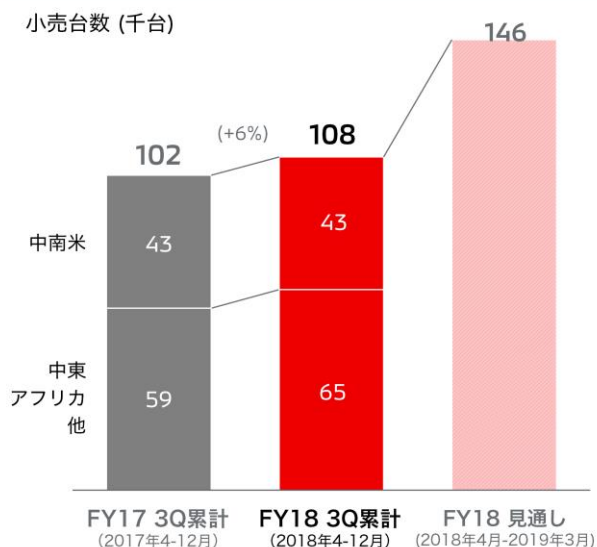
西欧は、前年同期比21%増加の13万1千台となりました。欧州の全需は前年並みであった一方で、当社は8月に投入した、商品力を大幅に改良したアウトランダーPHEVが販売の拡大に貢献いたしました。

また、ロシア他の販売台数は、37千台と前年同期比で68%の大幅増加となりました。17年度下期に現地生産を再開したパジェロスポーツに加え、4月にエクリプス クロスを投入、さらに18年半ばからはASX、パジェロの販売を再開するなど、ラインアップの拡充が、販売増加に大きく貢献いたしました。

2018年度 第3四半期累計 地域別実績: 中南米、中東・アフリカ他



小売台数 (千台)



トライトン(L200)

販売台数: 108千台, +6%

- フリート商談の獲得による台数増
- GCC地域でのシェア拡大

全需 6.4M 6.7M (+4%)

全需は当社調べ (主要16カ国) *2018年度より欧州及びアセアンの一部国を「中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2017年度実績数値も同様に変更。

14

その他の地域については、前年同期比6%増加、10万8千台となりました。

中東・アフリカ他においては、総需要はGCC諸国（湾岸アラブ諸国）において低迷している中、当社は同地域においてのシェア拡大や、フリート商談獲得が、台数増加に寄与いたしました。

中南米においては、主要国での景気回復に伴う総需要回復を受け、当社も緩やかに販売台数を伸ばしております。

1. 2018年度 第3四半期累計実績 サマリー

2. 2018年度 第3四半期累計実績 詳細

3. 2018年度 業績見通し

4. ビジネスハイライト

2018年度 通期業績見通し【前年度比】



(億円、千台)	FY17 実績	FY18 見通し	増減	
	(2017年4月-2018年3月)	(2018年4月-2019年3月)	差異	率
売上高	21,924	24,000	+2,076	+9%
営業利益 (利益率)	982 (4.5%)	1,100 (4.6%)	+118 (+0.1 P.P.)	+12%
経常利益	1,101	1,250	+149	+14%
当期純利益*	1,076	1,100	+24	+2%
販売台数 (小売台数)	1,101	1,250	+149	+14%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

16

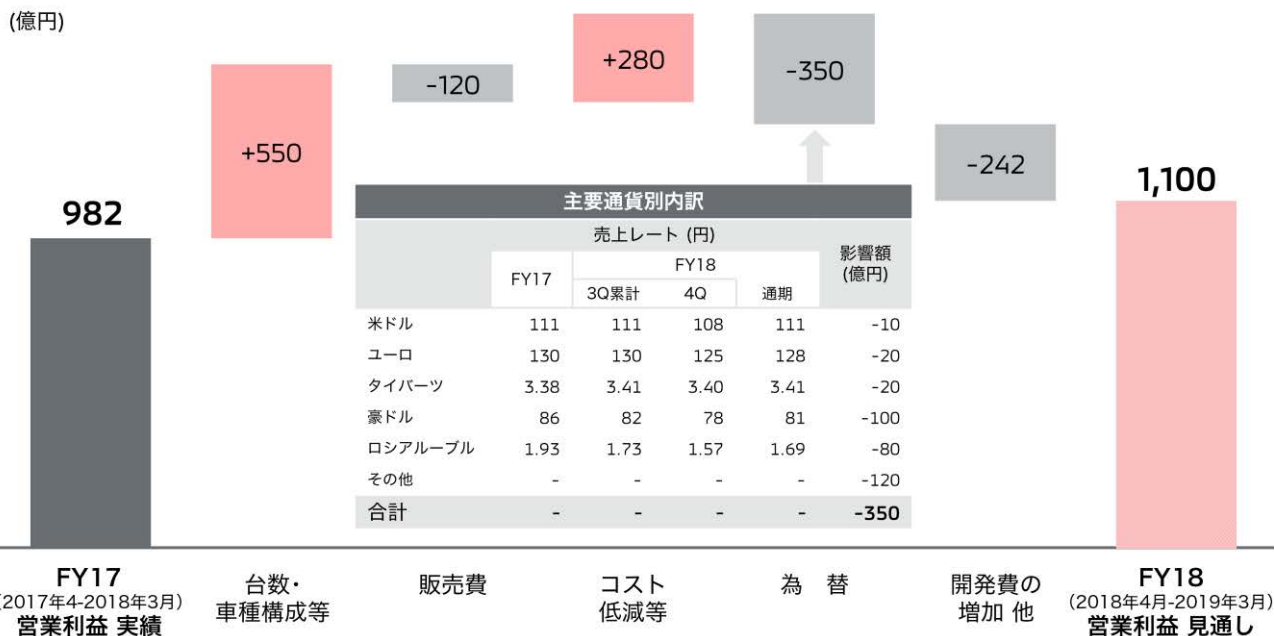
振り返ってみると2018年度は、前半、相次いだ日本各地での自然災害に加え、新興国や資源国の通貨安の影響はありましたが、全体としては、販売台数、売上、営業利益、いずれも前年を上回り、期初の計画に近い線を確認した状態で、第3四半期を終えることができました。

一方、足許、第4四半期を見通すと、米中間を中心とした通商摩擦の収束が見えないまま、世界的に景気の不透明感が増しており、販売面ではアメリカや中国など大きな市場での需要が減速している影響を受けています。

加えて、依然として新興国を中心とした不安定な為替動向にも備えておく必要があることから、先行きを慎重に見て、現時点では通期の業績見通しを期初公表のまま据え置くこととしたものです。

引き続き、当社が得意とするアセアンを中心とした地域で販売台数の積み上げを図る一方、地道なコスト削減に努め、まずは今年度の業績目標を確実に達成することに集中したいと考えています。

2018年度 営業利益見通し変動要因分析【前年度比】



通期の業績見通しは据え置きますが、為替については、足許の新興国通貨安の状況も踏まえた見直しを行った結果、前年比でみた為替影響は▲350億円と、11月時点の見通しに比べて▲40億円程度の悪化を見込んでいます。

一方で、ここまで順調に進んでいるコスト低減活動や販売費の効率的な運用による効果をそれぞれ+20億円ずつ積み増すことで、期初見通し通り、営業利益1,100億円を達成すべく取り組んでまいります。

1. 2018年度 第3四半期累計実績 サマリー

2. 2018年度 第3四半期累計実績 詳細

3. 2018年度 業績見通し

4. ビジネスハイライト



新型トライトン/L200

- 11月17日タイより販売開始：約150カ国に順次展開
- 大幅な商品力向上により各国から高い評価



新型デリカD:5

- 11月21日より予約受注開始: 4.2千台以上 (1月末)
- 内外装の刷新と静粛性向上、予防安全技術搭載等による商品力強化

2018年11月に、タイにて世界初披露した新型トライトン/L200は、オフロードでの走破性を向上させた4WDシステム、先進の予防安全・運転支援技術の採用等の大幅な商品力向上に対し、各国から高い評価を得ています。

タイに続いてオーストラリアへ既に出荷が始まり、今後、マレーシア、フィリピン、ベトナムなどのアセアン各国へ投入し、更に、2019年4月以降は中南米、中東、欧州と順次展開する予定です。

2018年11月より予約注文の受付開始をした新型デリカD:5は、優れた悪路走破性とハンドリングの良さ、静粛性の向上、内外装質感の向上等の大幅改良に対し高い評価を頂戴しており、1月末現在で4,200台を超える注文を頂いております。なお、発売は今年度内を予定しております。


**MITSUBISHI
MOTORS**
Drive your Ambition



APPENDIX

2018年度 第3四半期末 バランス・シート【前年度末比】



(億円)	FY17 (2018年3月末)	FY18 3Q (2018年12月末)	増減
資産合計	16,462	18,781	+2,319
うち現金及び預金	5,719	4,174	-1,545
負債合計	8,496	10,619	+2,123
うち有利子負債	266	2,131	+1,865
純資産合計	7,966	8,162	+196
自己資本 (自己資本比率)	7,810 (47.4%)	8,073 (43.0%)	+263
ネットキャッシュ 【自動車事業及び消去】	5,453	4,645	-808

2018年度 第3四半期累計 設備投資・減価償却費・研究開発費 実績



(億円)	FY17 3Q累計 (2017年4-12月)	FY18 3Q累計 (2018年4-12月)	FY18 見通し (2018年4月-2019年3月)
設備投資 (前年同期比)	664	827* (+25%)	1,350* (+35%)
減価償却費 (前年同期比)	371	442 (+19%)	600 (+15%)
研究開発費 (前年同期比)	667	912 (+37%)	1,220 (+19%)

* 過去の流動化資産の買い戻しなどの一時的要因を含む

2018年度 第3四半期累計 地域別業績【前年同期比】



(億円)	売上高			営業利益		
	FY17 3Q累計 (2017年4-12月)	FY18 3Q累計 (2018年4-12月)	増減	FY17 3Q累計 (2017年4-12月)	FY18 3Q累計 (2018年4-12月)	増減
合計	15,181	17,941	+2,760	646	850	+204
- 日本	2,391	2,995	+604	-159	-18	+141
- アセアン	3,549	4,003	+454	331	476	+145
- 中国 他	664	797	+133	136	113	-23
- 北米	2,380	2,641	+261	6	-10	-16
- 欧州	2,955	3,684	+729	62	-5	-67
- その他	3,242	3,821	+579	270	294	+24

* 2018年度よりアセアンと欧州の一部国を「その他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2017年度実績数値も同様に変更。

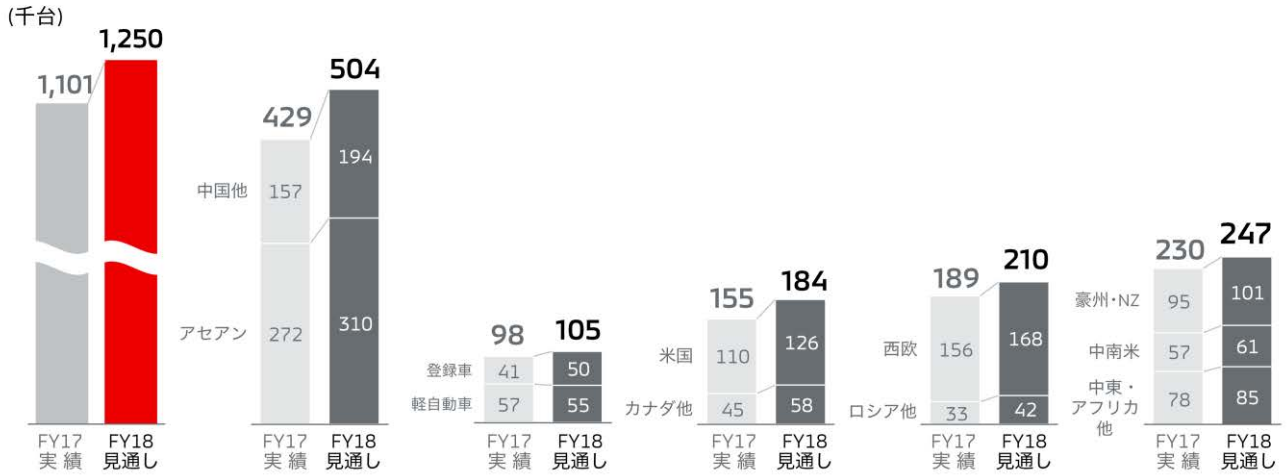
2018年度 地域別売上高見通し【前年度比】 (2018年5月公表)



(億円)	FY17 実績 (2017年4月- 2018年3月)	FY18 見通し (2018年4月-2019年3月)	増減
合計	21,924	24,000	+2,076
- 日本	3,494	4,000	+506
- 北米	3,525	3,900	+375
- 欧州	4,447	4,600	+153
- アジア	5,862	6,450	+588
- その他	4,596	5,050	+454

* 2018年度よりアジアと欧州の一部国を「その他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2017年度実績数値も同様に変更。

2018年度 小売台数見通し【前年度比】 (2018年5月公表)



合計	アジア	日本	北米	欧州	その他
+149 (+14%)	+75 (+17%)	+7 (+7%)	+29 (+19%)	+21 (+11%)	+17 (+7%)

* 2018年度よりアセアンと欧州の一部国を「中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2017年度実績数値も同様に変更。

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、金利・為替の変動、関係法令・規則の変更可能性等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。